

2026

78

江戸時代、お見合いや結納、婚礼といった大切な祝いの席では「お茶を濁す」「茶々を入れる」という意味につながり、お茶を飲むことは縁起が悪いとされ登場したのが桜茶。お湯の中で花開く姿が満開に花咲く桜のようだと縁起物として親しまれたそうです。遠い昔私の結納の日にも母が…。



パンフラワーの桜

〔題字〕  
酒田三中 三年 堤 もも さん

# 亀ヶ崎福祉だより

## 民生委員は困りごとを解決へ導くパイプ役です



令和7年度編集委員：阿部宣子 江口暢子 大江美千 大場直人 大淵光一 小川浩一 田澤 薫(五十音順)

このたび民生児童委員に任命された大門と申します。現在はずほ一丁目の自治会長として、自治会役員や班長の皆様に支えられながら、自治会運営に携わっております。つくづく地域住民の方々のご理解とご協力があってこそ自治会活動が成り立っていることを日々実感しております。

私は現役中は転勤族であったため、定年を機に約30年ぶりに地元へ戻ってまいりました。よって地域に不在であった期間が長く、まだ十分に馴染めていない部分があるのも正直なところ。今回せっかくのご縁でもあり、民生委員としてこれから地域の皆様の声に丁寧に耳を傾け、少しずつ信頼関係を築いていきたいと考えております。

微力ではございますが、地域の誰もが安心して暮らせる地域づくりのお手伝いができるよう努めてまいります。どうぞお気軽にお声掛けください。

### 地域住民の皆様と共に

みずほ一丁目民生委員 大門 薫

## ～庄内初の母子施設～ ディア ダイアリー 産前産後ケアハウス Dear Diary

知っていますか。酒田市本町にオープンした、庄内初の産前産後ケアハウス「Dear Diary」。総合病院で経験を積んだ助産師3人が常駐して、産前産後の不安や悩みを相談したり、赤ちゃんの様子を見てもらえたり、ママがほっと一息つける癒しの場を提供しています。赤ちゃんはもちろん、ママも大切にされる施設です。ぜひ気軽に利用してみませんか。

産前産後ケアハウス  
Dear Diary  
酒田市本町  
3-6-8  
Tel: 090-4090-4308



酒田市では、産後ケアの補助事業を行っています(生後4ヶ月未満まで)

酒田市 こども未来課 こども家庭センター  
ぎゅっとまで Tel: 0234-26-4199  
\*電話お申込みの上、酒田市と施設で日程調整を行います。

## 表彰おめでとうございます

酒田市社会福祉協議会より、加藤京子さん(亀ヶ崎六丁目)、富樫光子さん(みずほ一丁目)に社会福祉事業功労者表彰状が、佐藤伊佐子さん(みずほ一丁目)に社会福祉事業に協力・援助した個人への感謝状が贈呈されました。亀ヶ崎社協の活動へのこれまでのご尽力に感謝とお祝いを申し上げます。



(左より) 加藤さん、富樫さん、佐藤さん

## 編集後記

「二季化が進行」と言われるなか、久しぶりのまとまった大寒の雪は何かの兆し? この会報が皆様に届くころにはまばゆい春の陽に包まれていることを願っています。(大淵)

こんにちは

# 赤ちゃん

子どもは家族の宝、地域の宝です。地域のめんごい赤ちゃんをご紹介します。

来年3月発行の福祉だよりは、令和8年生まれの赤ちゃんを掲載予定です。うちのめんご・ご近所のめんご情報を編集委員またはお近くの民生委員までお寄せください。

ひかる 光くん [R7.5.13生]

どんどんいろんなことができるようになってとっても楽しいね! これからもたくさん一緒に遊ぼうね

つき 月綺くん [R7.5.19生]

笑顔いっぱい我が家の次男! 最近はお推し(ママ)の追っかけやっています! いっぱい食べておあきくなーれ!

みんと 湊斗くん [R7.5.26生]

家族が増え、賑やかで幸せな毎日です。産まれてきてくれてありがとう! 優しく逞しく育ってね。

くらぶ 来海ちゃん [R7.6.4生]

生まれてきた時はいろいろあったけど、すくすくと大きく育ってくれて嬉しいです。これからも元気に大きくなってね!

## 健康一口メモ

### 毎日の食事について考えてみよう!



毎食「主食」「主菜」「副菜」を揃えて1日3食バランスよく食べていますか。

- 主食** ご飯、パン、麺など…ごはん1日3杯
- 主菜** 肉、魚、卵、大豆製品など…1日3皿
- 副菜** 野菜、きのこ類、海藻類など…1日5皿



### //////////「良い食事」のポイント!//////////

- 牛乳・乳製品でカルシウム・ビタミンDを補給しましょう。牛乳が苦手な人はヨーグルトかチーズを利用しましょう
- 牛乳1日…200ml
- 果物は1日200gを目安に りんご…1個 みかん…2個
- 間食、食塩の摂りすぎに注意
- しっかりとよく噛んで食べる



# 民生児童委員って何だろう？

昨年12月酒田市では民生児童委員（以下民生委員）の改選が行われ、亀ヶ崎地域において11名が厚生労働大臣から委嘱されました。地域の見守りや福祉活動の仕事をしていると言われても自分に関わりがないので何をやる人なのか分からない…。そんな疑問を解決し皆さまにより身近な存在となるよう第3民児協会長の佐藤秀昭さん、同副会長の茂木美千子さんにお話をお聞きしました。

第3民児協会長 佐藤 秀昭さん  
副会長 茂木美千子さん



## 民生委員になっただきっかけは？

**佐藤** 令和4年の12月から4年目です。きっかけは自治会長から、前任者が退任するのでやってみたいかと声がかかりました。かつて市役所でケースワーカーをしていたこともあるので、民生委員の仕事は知っており、覚悟のうえで引き受けました。

**茂木** 令和2年2月からのので6年になりました。色々なお話を聞いて最初は覚悟していたので大変なとき、また良かったなあと思うことは、どんなときですか？

**佐藤** 事前に覚悟していたので大変だと思っただけではないです。  
**茂木** 自分の生活を優先し過ぎたり長期間家を空けたりするとあれこれ気になることはありますが、特に大きな負担はありません。道路で会った時に挨拶を交わしたり、施設から一時的に帰るときや戻るときに連絡をいただくと民生委員の仕事をしていて良かったと思います。地域の人の繋がりができるのは嬉しいですね。

民生委員児童委員信条の中のひとつに「地域社会の実情を把握することに努めること」とあります。民生委員の役割は守秘義務のかたまりです。大きな相談にも細かい相談にものり、佐藤さんの言うように専門機関とのパイプ役に徹します。中には地域の人から内情を知られたくない人もいます。その後は何気ない見守りを続けて行くことになりまます。

いて最初は皆さん人のためにすぎいな…私は無理、と思ったのですが子どもが大きくなってからは地域に関わっていいことに気づき、引き受けることで地域への恩返しになるかなと思えました。

## 民生委員の仕事内容を教えてください。

**佐藤** ひと言で言えば地域の身近な相談者、ですね。安否確認をはじめ、近年、定年退職の年齢が上がっており6歳を過ぎて働く人が多くなりました。民生委員の成り手は亀ヶ崎地域においても人材確保が難しいのが現状です。資格は必要としませんが、幅広い知識を必要とし、さまざまな情報を仕入れてこの問題ならあの窓口があるということを持ち得ている人になるための研修があります。民生委員を自分には関係のない人たちと考えずに、まずは自分の住む自治会の民生委員を知り、連絡先を登録することからはじめませんか。

### 民生委員の活動から



▲ふれあい給食でひとり暮らしの高齢者にお弁当を手渡ししました。



▲新一年生へのお祝いカードを作りました。

## あなたの自治会の民生委員です よろしくお願ひします!

(任期 令和7年12月1日～令和10年11月30日)

千石町一丁目 齋藤 秋美



千石町二丁目 志田 陽子



末広町 三浦 敦子



東中の口町 今野かの子



横道町・戸沢町 荒生 恵



長袋町・亀三東 佐藤 秀昭



立町 茂木美千子



最上町 齋藤 京子



亀ヶ崎六丁目 樋田 洋子



みずほ一丁目 大門 薫



主任児童委員 田澤 薫



は新任の民生委員

※電話番号は掲載しておりませんので、各自治会長にお問合せください。

はじめ、見守り、医療介護の相談者と専門機関とつなげる活動も大事な仕事です。

**茂木** 主に困りごとの相談を受ける仕事でしょうか。最初は高齢者の仕事が多いのかと思っていましたが、対象は妊婦さんからお年寄りまで幅広いですね。相談事があると聞かれたらこちらから訪問しますが地域を知るきっかけになって良かったなと思います。



「地域の身近な相談者 どこに相談していいかわからない時こそ相談を」

## どんな時にどんなことを相談すればいいですか？

**佐藤** どんなレベルで相談ということはありません。本人がなんとも思っていないければ悩みではないし家族が相談を躊躇することも、

相談として出てこないこともありませんがどこに相談すればいいかわからないときなどはいつでも相談してもらえたらと思います。

**茂木** 例えば回覧板がいつまでも戻ってこないの、行ってみたら郵便物もたまっている、警察に來てもらったところ認知症だったということが分かり近所の人から連絡をいただいたことがあります。また、買い物に行けなくなったと相談があり、タクシーが送迎してくれることを説明し、使うようになったという事例も。認知症で車を運転する人には、警察や包括支援センターはくちょうとも連携を取ります。



「地域を知るきっかけに そして地域への恩返しになるかと」